令和７年砺波市教育委員会第４回定例会議事録

１　開会及び閉会に関する事項
開催日時　　令和７年４月２３日（水）　午前１０時３０分～午前１１時４０分
開催場所　　砺波市役所　東別館会議室

２　教育長及び出席委員の氏名
白江　勉、林　克彦、齋藤　正樹、岩﨑　納子、吉澤　めぐみ

３　会議に出席した者の氏名
安地　亮（事務局長）、幡谷　優（教育総務課長）、端谷　真奈美（こども課長）、金平　裕（生涯学習・スポーツ課長）、川合　直美（教育センター所長）、北田　邦弘（小学校長会長）、森　明代（保育所・認定こども園代表）、田中 博晃（教育総務課主幹）、本田　いずみ（教育総務課庶務係主事）

４　会議に付した事項
（１）前回議事録の承認
（２）教育長報告
・事務局について（教育総務課、こども課、生涯学習・スポーツ課）
（３）議事
ア　議決事項
・議案第１２号・・・砺波市議会の議決を経るべき議案について
・議案第１３号・・・砺波市立公民館館長の任命について
・議案第１４号・・・砺波市病後児保育事業実施要綱の一部改正について
・議案第１５号・・・砺波市立出町小学校運営協議会委員の任命について
・議案第１６号・・・砺波市立砺波南部小学校運営協議会委員の任命について
イ　報告事項
・報告１１・・・砺波市こども食堂応援事業費補助金交付要綱の制定について
・その他・・・・教育関係機関所管事項について
（教育センター、小・中学校、保育所・認定こども園）

５　会議の要旨
教育長　　令和７年砺波市教育委員会第４回定例会を開会いたします。
本日もご多用の中、足を運んでいただきありがとうございます。
一昨日から出町中学校と庄川中学校、昨日から庄西中学校と般若中学校の３年生が修学旅行に行っております。
色々とホームページを見てみますと新年度が始まって、子供たちも元気に活動をしているようであります。
昨日は、校長教頭研修会というのを合同で初めて開催しました。昨年度は、校長と教頭を分けて開催したのですが、今回、校長と教頭が一緒になって、砺波南部小学校の５年生の国語の授業を参観し、

その後、校長教頭で協議会を行いました。
その目的は、この授業の方向性、授業改善の個別最適な学びのあり方について情報共有していくためであります。
参観した授業の内容ですが、学習者用デジタル教科書を使用して、子供の考えを作り上げておりました。昔の授業のような、挙手して発言するような授業ではなく、近くの子供たちと意見交換しつつ、得た情報を構造化しており、その方法が子供によって多種多様で、見事に違っていました。表にまとめたり、矢印を使って繋いだり、様々に異なっており、また、子供たちはそれぞれが自身のまとめ方に自信をもち自分なりに表現していることがはっきりと見て取れました。一年間、学習者用デジタル教科書を使用して授業をしてきた成果の発表であることを感じることができました。
加えて、最後の振り返りは、砺波市の「授業スタンダード」を行っており、子供たちが学んだことを書いているのですが、それに留まらず、それを「オクリンクプラス」を使い送信し、友達のまとめが一覧となって出ておりました。子供たちがそれを俯瞰して、いいなと思った振り返りについて意見を、こういうところが良いと思ったと書き込んでいるところまで授業を行っておりました。これはかなり高度な授業で、多くは自分の振り返りで精一杯のところ、友達の振り返りまで見て、良いところを見つける、そういうことを繰り返すことで、自分の振り返りの仕方がより洗練されたものになり、次の授業に繋がります。このことを、さりげなく、当たり前のようになされている様子を参観いたしました。
また、DXアドバイザーといって、先進的にデジタルトランスフォーメーションを行っている芝園小学校に勤めておられた先生にも来ていただき、助言いただいたり、全国的に現在取り組まれていることを教えていただきました。
砺波市の小中学校の校長会と教頭会が一体となって、今、授業改善へ更に進んでいくという良いスタートができたということを感じた会でした。

教育長　それでは、前回議事録の承認についてお諮りします。
教育委員　意義なし。
教育長　事務局各課から所管事業について報告を求めます。
教育総務課長　＜総括的事項について報告・説明＞
＜教育総務課所管分の事業について報告・説明＞
こども課長　＜こども課所管分の事業について報告・説明＞
生涯学習・スポーツ課長　＜生涯学習・スポーツ課所管分の事業について報告・説明＞
教育長　質疑はありますか。
齋藤教育委員　こども課に質問です。前回、出町の児童センターがイオンに移転するということで話題になっておりましたが、引っ越しとかいつ頃するとかは決まったのでしょうか。あと、１階にするのか、それとも２階にするのかということをイオンに要望されるとのことでありま

したが、その後の進捗状況はどうですか。

こども課長　申し訳ございません。全く進展しておらず、イオン側から１階にするか２階にするのかという返事を待っている状態であります。

齋藤教育委員　開設予定はまだ立っていないのですか。

こども課長　そうです。

教育長　店舗内ということは間違いないのですが、いつかはまだ決まっておりません。

こども課長　決まりましたら、ご報告させていただきます。

教育長　それでは、議事に移ります。
議案第１２号の説明を事務局各課から求めます。

教育総務課長　説明＜議案第１２号　砺波市議会の議決を経るべき議案について＞

生涯学習・スポーツ課長

教育長　質疑はありますか。

齋藤教育委員　中村グラウンドの用地について購入ということですが、白線を引く予定などあるのですか。

生涯学習・スポーツ課長　現在、白線はほとんど消えている状態です。売買が完了した後に引く必要があると思っておりますが、工事費など予算が必要になってきますので、それらも含め検討したいと考えております。

教育長　議案第１３号の説明を事務局各課から求めます。

生涯学習・スポーツ課長　説明＜議案第１３号　砺波市立公民館館長の任命について＞

教育長　質疑はありますか。

教育委員　質疑なし。

教育長　議案第１４号の説明を事務局各課から求めます。

こども課長　説明＜議案第１４号　砺波市病後児保育事業実施要綱の一部改正について＞

教育長　質疑はありますか。

齋藤教育委員　病後児保育施設はあればいいということを聞いていたが、ニーズはありそうな感じですか。

こども課長　他市で病後児保育をやっている施設があるのですが、砺波市民の方もその施設を何人か利用されているということを聞いております。ですから、それなりにニーズはあるのではなかと考えています。

教育長　議案第１５号の説明を事務局各課から求めます。

教育総務課長　説明＜議案第１５号　砺波市立出町小学校運営協議会委員の任命について＞

教育長　質疑はありますか。

教育委員　質疑なし。

教育長　議案第１６号の説明を事務局各課から求めます。

教育総務課長　説明＜議案第１６号　砺波市立砺波南部小学校運営協議会委員の任命について＞

教育長　質疑はありますか。

教育委員　質疑なし。

教育長　報告事項に移ります。

報告１１を事務局各課から説明を求めます。

こども課長　説明＜報告１１　砺波市こども食堂応援事業費補助金交付要綱の制定について＞

岩﨑教育委員　知り合いのこども食堂にボランティアで参加したことがあるのですが、環境に左右されずとか、食べ物に困っている子というよりもスポーツ少年団活動が終わった後に地域の食堂というか、みんなで知り合いになろうといった感じの食堂で、すごく温かい雰囲気があったので、これを引き続き、市のほうで支援していただけるのはいいことだなと思いました。

補助対象事業の（３）の「食事提供だけでなく、こども同士の交流活動、こどもによる体験活動、こどもの学習支援等のこどもの居場所づくり活動を行うこと。」など食べ物を提供するだけでなく、ちょっと食費がないから来るというだけではない。本当に開かれた場所なんだと実感しました。

林教育長職務代理者　こども食堂のことですが、以前から市内には３箇所ほどあったと思うのですが、それ以降は増えていないのですか。

こども課長　今回、新たに庄川地域で１つ増える予定であります。

林教育長職務代理者　特に砺波市なんかでは、こども食堂は地域コミュニティの強化という点がメインなような感じで思っておりました。今回、１つ増えるということで、わかりました。

齋藤教育委員　第２、第４土曜日でずっとやっていきたいと聞いているが、１人ではできないと思うので、支える人がいるか心配である。

こども課長　支える人は２０名ほどいると聞いている。

教育長　このような場所が増えるということはありがたいことであります。

岩﨑教育委員　質問なのですが、研修のリストを見させていただいて、すごくやっておられると感じたのですが、これは他の市でも同じくらい計画をされているのか、また、大体これだけやらなければならないといった基準などはあるのですか。

教育センター所長　他市と交流する時などはありますが、基本的にはその市が目的とする研修をやっており、基準はありません。必要だと思うことをそれぞれやっています。

ただ、県でやっている研修には必ず参加しなけらばならないものもあります。

砺波市は、児童生徒が帰った後の午後３時４５分から１時間ぐらいでできる研修をやっており、教員の負担とならない配慮をしております。

岩﨑教育委員　先生同士が研修を通して仲良くなるというか、温かい職場というか研修は大事なんだと思いました。

教育長　本当におっしゃる通りで、顔を合わせることが大事で、そして砺波市はアウトプットを大事に、そして短時間で終わるという、座学を聞いて終わりみたいな形ではやっておりません。

ですので、多分、他市よりは研修の数は多いと思います。

令和のとやま型学校教育を教育センターが中心となり、有名な先生を呼びながら研修を行っております。
砺波市の先生は砺波市の授業改善でかなり共通理解がされているので、色々と協議会をやっても話が通じます。
同じ方向性でやっているので、先生たちが戸惑うことはないという風に思っております。

林教育長職務代理者　白江教育長になってから、非常に授業改善に力を入れておられると感じております。見ていると非常にわかります。コロナ禍になって授業参観に出る機会がなかったのですが、最近、出るようになってやはり昔とだいぶ違うなと思いました。
砺波市は進んでいるなという感想を持っています。
それともう一つ、学習指導の振り返りですが、各々の児童生徒がお互いに書いたものを見るとか、お互いに褒め合ったりするとか、とてもいいなと思いました。
昔はお互いに褒めようと思っても言葉を知らないため、褒めることがなかなかできなかった。他の子たちの言い方や言葉、単語などを見たり聞いたりすることにより、こう使えばいいのじゃないけれど、自然とそれが何回も見てるうちに自分でもしゃべれるようになるということで、とてもいいことだなという風に感じています。

教育長　今、他者参照とって言って他の者を参照していく。つまり、自分がどう動いていいかわからない時に、すぐ友達のやっていることを見ることができることによって、１歩踏み出しますし、自分と同じことをやっている人はこの人だということがわかりやすくなったので、そこに行って話しも聞くことができると。つまり、昔は授業なんかでも先生に見られないようにするとか、手を挙げて他の子が言っていないようなことを発表して優越感に浸るような傾向があったのですが、今はまったくそうではなく、同じ自分の共有を開いてさらけ出すのが当たり前、さらけ出した情報の中で自分の考えを作り上げていく。自分の学びを作り上げているのが、いいんだという認識に子供たちも少しずつなってきていると思います。これはすごく大事な理念であります。

齋藤教育委員　４月から小学生の登校の様子を見ていると、１年生の子供が元気がないように見えたのですが、まだ戸惑っている１年生が多いのではと思いました。あと、新採の先生も元気かなと思いました。

教育長　新採研修の時、１人泣いていました。

教育センター所長　不安なんだと思います。自分に見通しが持てないし。そして、ベテランの先生とどうしても比べてしまい、辛くなってしまうみたいです。でも、その先生は、同僚や先輩の先生にすごく話しを聞いてもらっていると泣きながら帰っていきました。周りの先生は新採の先生の話を聞いてあげるし、自分の悩みを伝えることができています。

教育長　人前で泣けるということはいいことです。また、泣いて対応してもらえると、非常に心理的な安全性につながります。最悪なのは、大

丈夫と言って、ある日急に来なくなったり、倒れたりすることです。今年の新採は８人いるのですが、教育センターを通じて本人と話しをする機会を設けています。

教育長　その他、意見交換も含めてどんな話題でもよろしいですが、いかがですか。

吉澤教育委員　最近、新聞で児童虐待が過去最多ということと、小中学生の自殺も過去最多という記事を見たのですが、昨年、富山県でも小中学生の自殺が４人あったということが書いてありまして、本当に小さい小中学生の子供たちが自殺まで追い込まれるまでにどんな風な気持ちだったのかということを考えると本当に心が痛くなります。

その自殺の原因の中で、動機は学校問題が最も多く、その中で学業不振ということが書いてありました。どういうことかと思って調べたのですが、教育虐待という言葉が出てきて、私は初めて聞く言葉だったのですが、他のお母さんたちに聞くと、聞いたことがあるという方もおられれば、初めて聞くという方もおられました。

教育虐待という言葉に定義はないそうなんですが、行き過ぎた教育、かつてスパルタ教育と呼ばれた類のものを指すということで、愛の鞭と称して暴力を振るったり、精神的に追い詰めたりする行為で、それによって子供が不登校や心に傷を負ってしまう子がいるのではないかと思って。それで調べていると、今度は教育学会という本が出てきて、早速読んでみたのですが、本当に親の言葉の暴力によって子供たちが傷ついているということが書いてありました。本当に子供に言ってはいけない言葉が出ていたのですが、本当に私はすべて言ってきたと思いました。これは、勉強だけでなく、スポーツや芸術面においてもそうです。子供のことを思って、お父さんもお母さんも一生懸命になっているのですが、それによって、子供たちが心に深く深く傷を負っている。教育から不登校や心のストレスを抱えている子もいるのではないかと思って、今からでも改めたいと思います。

岩﨑教育委員　吉澤委員に本をお借りして読んだのですが、私の場合、勉強すれば、努力すれば、誰でも勉強できるようになると子供のことを見ずに厳しく接してしまっていました。自分の接し方がよくなかったと気づくまで３年ぐらいかかりました。結構、こういうことはもしかしたら、身近にあるかもしれないです。

先ほど非認知能力を生成する教育活動の推進や非認知能力を認めて伸ばす教育を進めていくと、子供だけじゃなくて親もそれを知ることで勉強ばかり見なくなるんじゃないかと思いました。

教育長　認知能力の土台に非認知能力があります。また、砺波市でもいろいろな虐待もありますので、その際の保護者対応で感じたことが昨年度も多々ありましたので、そういうことも含めて非認知能力というのを少し可視化して、市としての定義をしっかり決めて、教室に貼らせて、今度、市ＰＴＡ連絡協議会でも話しをしますが、ちょっと

ずつ、これは大事なんだと子供たちが結構言い始めているので、その子供の言葉を聞いて親が気づいてくれればいいですが、避けられる可能性も十分あります。

吉澤教育委員　虐待している親は自分が虐待しているということに気づいていないですね。

教育長　確信犯的にそれはいいと思ってやっておられるので、これが子供のためだと思っておられる。でも、どこかで子供がそちら側に変わった時に、気づかれる親もおられます。

結論は、ちょっとでも学校のその中で子供が変わったというところを、いい方向を保護者に伝えていく中で、保護者自身が気づいていくような、そういう環境作りをしていきたいと思っております。

小学校長会長いかがですか。

小学校長会長　子供の変化を見逃さないということだと思っております。今までと違う行動をとったり、中にはサインを出していることだと考えておりますので、逃さないために、やはり普段から子供がよく見ましょうねということを先生方に常にお願いをしているところです。

やはり子供のペースに合わせて話を聞いたりしていくことが大切からなと思っておりまして、そういうことがあったよということを逐一保護者には伝える。良いこととか悪いこととかそういうことではなく、今日はこんなことがありましたのでお知らせしますよということで、同じ方向を向いて子供に接していければと学校の方でも言っており、子供の気持ちを大切にしたいと思っております。

教育総務課長　次回、令和７年第５回定例会を令和７年５月２８日（水）午後１時３０分から開催いたします。また、令和７年第６回定例会について、令和７年６月２７日（金）午前１０時３０分から開催したいと考えております。いずれも場所はこの東別館会議室で行うことといたします。

教育委員　了承。

教育長　これで令和７年砺波市教育委員会第４回定例会を閉会いたします。